

1. 平里地区道営畑地帯総合整備事業について

(1) 経緯

平里地区道営畑地帯総合整備事業は、平成 18 年 4 月に地区事業採択を受け、飲用水を含めた営農用水施設整備を進めていたが、平成 20 年 9 月に原水水質検査の結果、大腸菌が検出されたことから、道が水源変更や浄水方式など、整備計画見直しの比較検討を行ってきた。

(2) 比較検討内容の概要

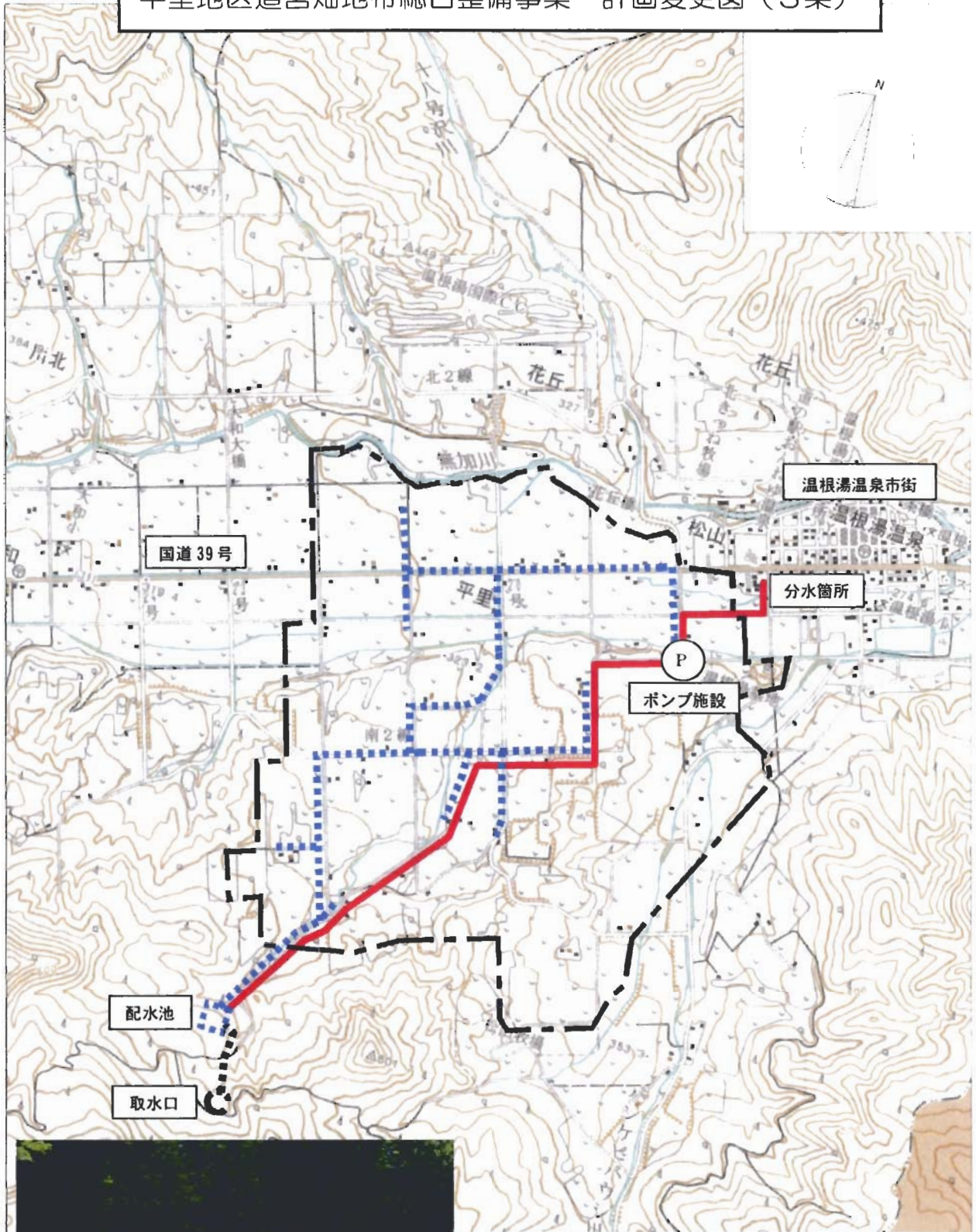
	1 案	2 案	3 案
	緩速ろ過法 (浄水施設を設置)	膜ろ過法 (浄水施設を設置)	分水方式 (温根湯簡易水道から)
処理フロー	原水→緩速ろ過法→浄水池	原水→膜ろ過法→浄水池	配水管→送水ポンプ→配水池
設備概要	浄水施設上屋 緩速ろ過池(47 m ² *2池)	浄水施設上屋 膜ろ過装置 1式	ポンプ場上屋 送水管(Φ100 mm・75 mm) 送水ポンプ(2台)
長 所	砂削り作業のみで、高度な技術を必要とせず人件費の低減が図れる	人的作業がほとんど必要なく、自動化で維持管理が容易	人的作業がほとんど必要なく、単純機能の自動化により維持管理が容易
短 所	原水が湧水であり清浄であるため、ろ過膜の生成が困難	完全自動化されているが、故障時や点検時には高度な技術が必要	ポンプ類及び高圧送水管の維持管理が必要
設 備 費	217,400,000 円	231,700,000 円	199,900,000 円
維持管理費	1,450,000 円/年	1,890,000 円/年	1,210,000 円/年

(3) 検討結果及び整備方針

経済性、維持管理面及び地理的条件等を含め、総合的に判断した結果、3 案の温根湯簡易水道からの分水方式が最も優れているとされた。

今後、国(農林水産省)と道との協議結果を踏まえ、早期の施設整備に向け、網走支庁中部耕地出張所や市関係部局との調整を進める。

平里地区道宮畑地帯総合整備事業 計画変更図 (3案)



凡 例	
---	受益区域 (給水人口 99名 戸数 32戸)
.....	当初計画施設
————	変更計画施設

1 / 35000